

## ND-BC300

### 取扱説明書

**⚠ 車への取り付け・配線、取り付け場所の変更は、安全のため必ず販売店に依頼してください。**

取付・配線や取り外しには、専門技術と経験が必要です。誤った取付・配線や取り外しを行ったり、指定以外の部品を使用すると、事故やケガ・故障の原因となる場合があります。この場合、弊社では一切の責任を負いかねます。

#### 販売店様へ

取り付け作業が完了しましたら、この取扱説明書はお客様へお渡しください。

本製品は、HD バックカメラ入力対応のパイオニア製品専用設計です。

対応製品については弊社ホームページでご確認ください。

< <https://jpn.pioneer/ja/carrozzeria/> >

<下記窓口へのお問い合わせ時のご注意>

「0120」で始まる電話番号は、携帯電話・PHS一部のIP電話などからは、ご使用になれません。

携帯電話・PHSからは、ナビダイヤル、またはIP電話をご利用下さい。(通話料がかかります)

正確なご相談対応のために折り返しお電話をさせていただくことがございますので発信者番号の通知にご協力いただきますようお願いいたします。

**カスタマーサポートセンター** ※記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますのでお客様サポートサイトも活用ください。

#### ■お客様サポートサイト

<https://pioneer.jp/rd/support/>



#### ■商品についてのよくあるお問い合わせ(FAQ)

<https://pioneer.jp/rd/support/faq/>



#### ■電話 《カーオーディオ、カーナビゲーション商品》 ※受付時間はお客様サポートサイトで確認ください

【固定電話から】0120-944-111 (無料)

【携帯電話・PHSから】050-3820-7540 (IP電話・有料)

または 0570-037-600 (ナビダイヤル・有料)

※カーナビゲーションの訪問宅電話番号検索機能に関する個人情報の削除などはこちらの窓口で承っております

#### ■ファックス 0570-037-602 (ナビダイヤル・有料)

令和2年10月現在

記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますので予めご了承ください。

VOL.10

### パイオニア株式会社

〒113-0021

東京都文京区本駒込2-28-8

文京グリーンコート

© パイオニア株式会社 2022

< KFWZ22H > < CYR1334-A >

# 保証書とアフターサービス

## 保証書

保証書は、ご購入年月日、販売店名などが記入されていることをお確かめのうえ、ご購入の際に販売店より受け取ってください。

保証書に記入もれがあったり、保証書を紛失したりすると、保証期間中でも保証が無効となります。記載内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

## 保証期間

この製品の保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

## 修理について

本機は持ち込み商品のため出張修理は承っておりません。引き取り修理サービスをご利用ください。

(お車から取り外していただいた状態での引き取りとなります。また送料はお客様ご負担となります。)

### 保証期間中の修理について

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。

お買い上げの販売店または修理受付窓口にご連絡ください。

連絡先については、弊社ホームページをご覧ください。

### 保証期間経過後の修理について

お買い上げの販売店または修理受付窓口にご相談ください。

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

なお、生産終了により補修用性能部品の調達や修理後の性能保証などの事情から修理できない場合があります。あらかじめご了承ください。

### 車からの脱着（お取り外し・お取り付け）について

弊社修理拠点へのお持ち込みは、製品をお車から取り外した状態で、承ります。

なお、修理・点検時における本製品のお車からの脱着費用の負担、及び脱着作業は承っておりません（保証期間内含む）。販売店、または取付店にご相談ください。

## ご質問、ご相談は

本機に関するご質問、ご相談はパイオニアカスタマーサポートセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

## 使用上のご注意

- 本機の取り付け、ご使用にあたっては、本機を接続する製品の「安全上のご注意」もお読みください。
- 自動洗車機または、高圧力の水で洗車は行わないでください。カメラ内に水が入ったり、カメラが落下する恐れがあります。
- カメラレンズ表面や本体が凍結した場合にライタールなどで加熱しないでください。故障の原因となります。
- 本製品は後方確認用の鏡像タイプです。鏡像タイプとは、バックミラーやサイドミラーと同様に左右対称に映すカメラです。

- 本製品はドライバーの後方視界を補助するためのもので、全ての危険及び障害物をカメラで映しだせるものではありません。バックする際は必ず目視で後方の確認をしてください。
- 本製品は広角レンズを使用しておりますので、近くは広く、遠いところは狭く映り、実際の距離感とは異なる場合があります。バックする際は必ず目視で後方の確認をしてください。
- 取り付け部の接着が弱いと、走行中にはがれて事故の原因になります。ときどき点検してください。
- カメラの取付状態を走行前に点検してください。
  - ・ネジがゆるんでいないか
  - ・接着面がはがれかけていないか走行中にカメラがはがれると事故の原因になります。

## 仕様

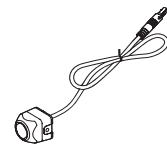
出力映像: 鏡像  
撮像素子: 1/2.8型 カラーCMOSセンサー  
画素数: 約200万画素  
レンズ: 広角 焦点距離  $f=1.27\text{ mm}$  F値 1.9  
画角: 水平 約 $180^\circ$  垂直 約 $105^\circ$   
IRカット: 有り  
アイリス方式: 電子アイリス  
走査方式: プロGRESSIVE  
同期方式: 内部同期  
S/N: 46 dB (推奨照度にて)  
水平解像度: 600本以上(中心部)  
照度範囲: 約 $0.65\text{ lx}$ ~ $10\text{ 万 lx}$   
映像出力: HD-TVI方式 1Vp-p(75  $\Omega$ )

電源電圧: DC 12 V(専用電源ケーブル付属)  
アース方式: マイナスアース方式  
消費電流: 100 mA以下(14.4 V)  
動作温度:  $-30^\circ\text{ C}$  ~  $+70^\circ\text{ C}$   
保存温度:  $-40^\circ\text{ C}$  ~  $+85^\circ\text{ C}$   
外形寸法(幅×高さ×奥行):  
カメラ部: 23.8 mm×23.8 mm×25.5 mm  
電源BOX部: 76 mm×18.5 mm×13 mm  
本体質量: 235 g(電源ケーブル含む)  
ケーブル長:  
カメラ本体ケーブル: 3 m  
RCA映像出力/電源ケーブル: 7 m

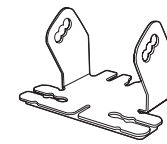
## メモ

- 本機の仕様および外観は予告なく変更することがあります。また、この説明書の中のイラストと実物が一部異なる場合があります。

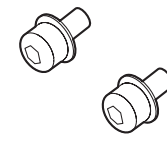
## 接続・取り付け部品を確認する



バックカメラ × 1  
(ケーブル長 3 m)



ブラケット × 1



ワッシャー付きネジ  
× 2



RCA映像出力/電源ケーブル × 1  
(ケーブル長 7 m)



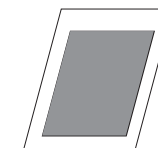
束線バンド × 6



六角レンチ × 1



グロメット × 1



防水シート × 1

# 取り付ける前に

## ⚠️ ご注意

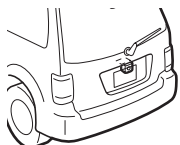
- 本製品のカメラ前面部は「道路運送車両の保安基準第 18 条及び細目を定める告示第 178 条」に準拠しています。保安基準に適合させるため、取り付けるときは、図のように取り付けてください。正しく取り付けないと、「道路運送車両の保安基準」に適合しない場合があります。

## 取り付け上のご注意

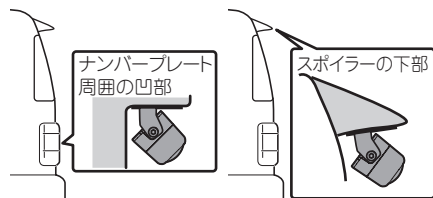
- 取り付け、固定する前に仮接続を行い、本機が正常に動作することを確認してください。正常に動作しない場合は、接続に間違いがないか、もう一度チェックしてください。

- バックカメラの取り付け位置・角度を決める際、次のことを確認し、ブラケット側面にある 3 か所のネジ穴のうち、最適なネジ穴を選んでください。

- ・カメラ本体のロゴ印刷面が上を向いているか。
- ・カメラが後方の視界を妨げていないか。
- ・カメラが車両に当たっていないか。
- ・カメラが車幅からはみだしていないか。
- ・カメラ後部が車両に隠れているか。

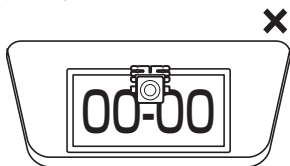


歩行者等に当たらないよう下図のように取り付けてください。

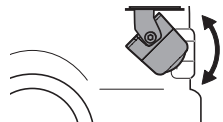


- ・ガラス面に貼り付ける場合は、リアワイパーにカメラが当たっていないか。

- ・ナンバープレートのナンバーがカメラに隠れていないか。



- ・カメラの角度を調整できるか。



- カメラ本体は、車幅に対してなるべく中央付近に取り付けてください。(左右に大きくずれて取り付けると、カメラの映像と実際の見え方のずれが大きくなります。)

- 雨や霧の中では取り付け作業を行わないでください。

- カメラをフッ素樹脂加工処理された車体やガラスに取り付けしないでください。バックカメラが落下する恐れがあります。

- カメラを貼り付け直さないでください。

- 取り付け後、24 時間以内は次のことを守ってください。

- ・水をかけないでください。
- ・雨にぬらさないでください。
- ・カメラに無理な力を加えないでください。

## 取り付け時のポイント

- 取り付け面の汚れをよくふきとってください。
- 湿気の多いときは、取り付け面を乾燥させてから作業を行ってください。取り付け面に水気があると接着力が低下してはがれる恐れがあります。

- 取り付け面の温度が低いときは、接着力を上げるためドライヤーなどで温めてから取り付けてください。

# 取り付け

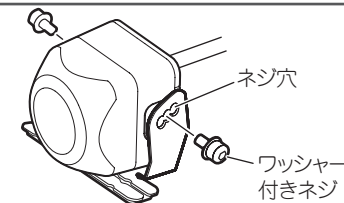
## バックカメラの取り付け

### 1 カメラの取り付け位置を決める

「取り付ける前に」を確認し、適切な取り付け位置とネジ穴を決めます。

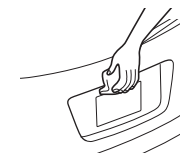
### 2 カメラとブラケットを組み立てる

手順 1 で決めたネジ穴にワッシャー付きネジを通し、カメラとブラケットを仮止めします。



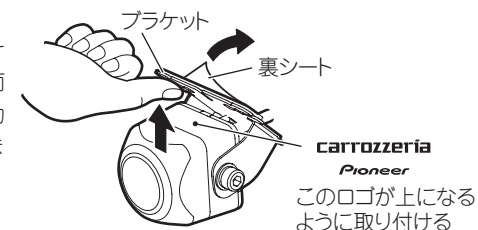
### 3 取り付け面の汚れをふきとる

クリーナークロスなどで、取り付け面に付着している油膜やワックス、ほこりなどの汚れをふきとります。

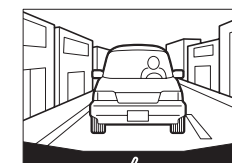
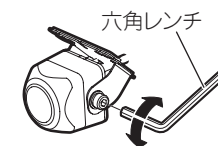


### 4 ブラケット裏面の裏シートをはがして、貼り付ける

ブラケットを指でしっかりと押して、取り付け面と密着させてください。ブラケットの接着面に手を触れたり、貼り直したりすると、接着力が低下してブラケットがはがれる恐れがあります。



### 5 バンパーまたは車両後端がテレビ画面の下の端に映るように、角度を調整し、付属の六角レンチで固定する



バンパーまたは車両後端

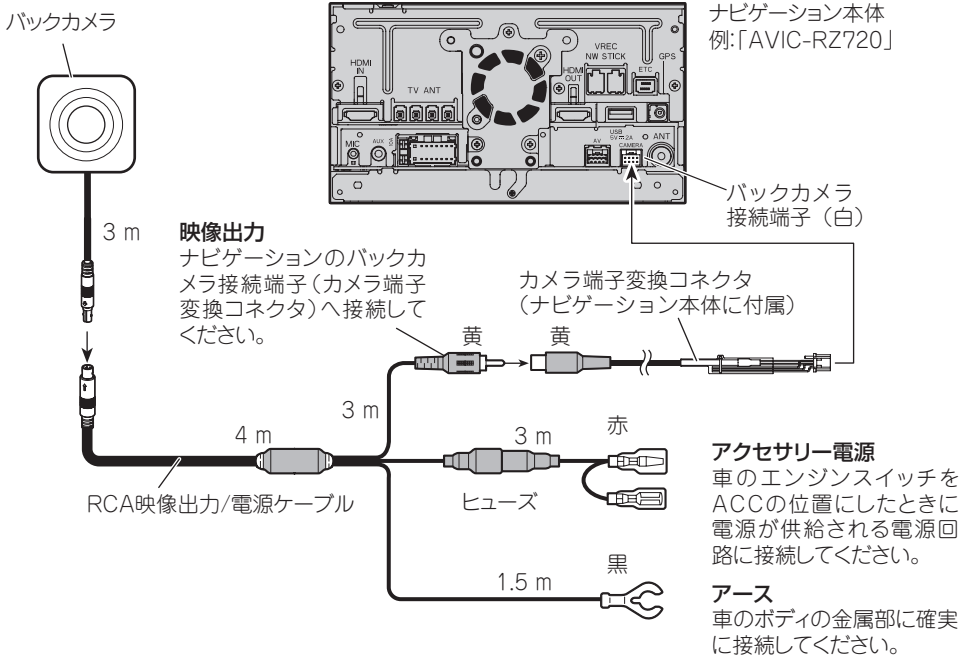
# 接続する

## コネクターの着脱のしかた

- 矢印の位置を合わせてからしっかり奥まで押し込んで、確実に接続してください。スムーズに入らない場合は、コネクターの矢印の位置を確認してください。無理に挿入すると故障の原因となる場合があります。
- コネクタを外すときは、図のようにコネクタ部分を持ってロックを押しながら、引っ張ってください。コードを引っ張るとコードが抜けてしまうことがあります。



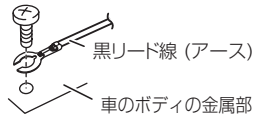
## 接続図



注：● 電源リード線のヒューズから本体の間に、他の機器のリード線を接続しないでください。

## ⚠ 接続上のご注意

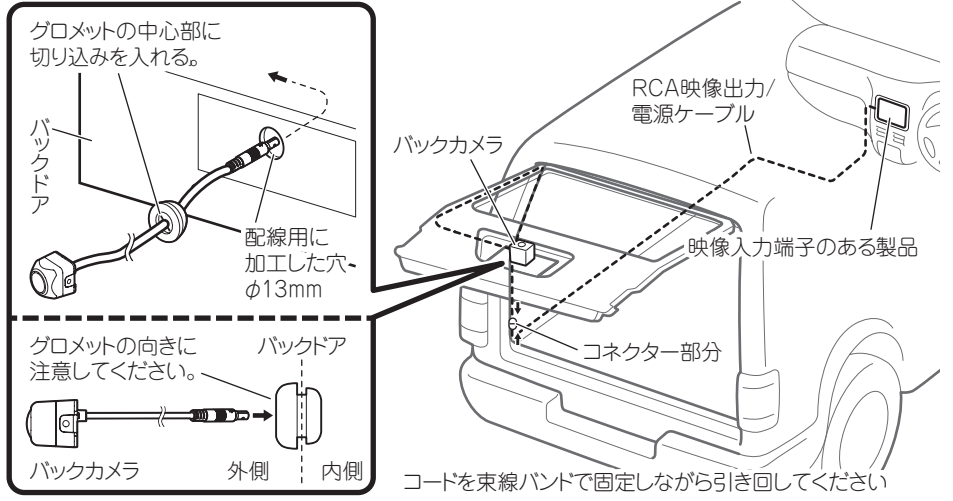
- 製品の発煙・故障を防ぐために、本機の黒リード線(アース)を必ず最初に車のボディの金属部に確実に接続してください。黒リード線(アース)は、パワーアンプなどの消費電流が大きい製品のアースとは別々に取り付けてください。まとめて取り付けると、ネジが緩んだり外れたりしたとき、製品の発煙・故障の原因となる恐れがあります。



メモ

- 必要に応じて、ナビゲーション本体の「カメラ設定」や「バックカメラ極性設定」などを行ってください。→ナビゲーションに付属の取扱説明書

# コードを処理する



- 注：
- AM, FM ラジオに雑音が入る場合は、車両のアンテナからバックカメラのコードを離してください。
  - バックカメラのコードは、テレビアンテナのケーブルから離してください。
  - 穴あけ作業をする際は、次のことを必ず守ってください。
    - ・パイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認し、干渉したり接触したりしないようにする。(火災や感電、故障の原因となる場合があります。)
    - ・ゴーグルなどを使用して、切り粉や破片が入らないように目を保護する。(けがの原因になります。)
  - 市販のシーリング剤などを使用して、グロメットのバックドア内側部分に防水処理をしてください。
  - ケーブルやコネクタ部分は、必ず車内に入れてください。
  - コネクタ部分は防水仕様ではありません。水滴がかからない位置に設置してください。水滴が掛かりそうな場合、付属の防水シートを巻き付けてください。

## コード処理のポイント

- バックドアのハーネスカバーとヒンジの外側を引き回してください。

